

三和新聞

1月4日 (金曜日)

THE SANWASHIMPO
才814号 昭和29年6月17日第三種郵便物認可
日刊 日曜・祝・祭日を除く 購読料1ヵ月 80円

靴なら……
自家製造の格と優秀な技術
最高の品質を誇る平の靴一と
評判をいただいております

菊一靴店
平 TEL 446番

燃料節約
生活の合理化
武田陶器店
平市二丁目
電話二九八

衣料品
鈴屋
平市大町
電話一七八

乱れ飛ぶ札束、六千万圓

平三日間の人出延13万人

神武以来といわれる好景気と例年より五、六度も高いお天気
にめぐまれたいわき、地方の正月は空前の人出で賑わ
い商店街にとつて正月は正に「宝の入舟」といった感じを
与えている。

平市は一日の午後から夕刻にかけて、
賑わいのバスを乗客、平駅
の降客も一日は一万三千五百人入
敷いている。市内の中心街はどこ
もこの賑わいで、映画館は
平市は一日の午後から夕刻にかけて、
賑わいのバスを乗客、平駅
の降客も一日は一万三千五百人入
敷いている。市内の中心街はどこ
もこの賑わいで、映画館は

戦後最高の賑わい

常磐 大人満員の旅館

常磐市本商街の正月はかつて
ない好景気といわれる賑わいあつて
一日から三日までの間はバスで
延五万人、売上げ額も五百万円
を突破したといわれている。
とくに温泉旅館は、波城もよ
平、磐城市近郊の温泉も、

例年より賑やか

磐城 響くボーナス景気

サンマ、イワシ相次ぎ漁獲のため
不景気を予想された磐城市のお
正月は漁業者はほとんども止め
正味は漁業者はほとんども止め
正味は漁業者はほとんども止め

雄鶏

雄鶏は日本語で「雄」
新しく古く「雄」
自己を誇り
欲望と憤怒の河床を這う
雄鶏は
十二年毎の誕生にむかひ
年合のな、孤高な
絶叫をあげる
一九五七年の雄鶏は
羽毛はけ
けでの落ち
とろろが紅色の
とさかだが
煙のまじりに燃え上っている
日野利春
(鶏年生れ) 四十八才

最高二百円で取引

ハマはイワシ漁でわく

不漁を心配していたイワシ漁が、
近頃盛況をみせ、小名浜港を本拠とす
るアグリ船は正月を返上して出漁
しているが元日から四日朝まで
約二万貫の水揚げで、ハマは最高セ
リにイワシ大漁でわくわくしている。
漁場は小名浜港と地元の漁船を
じめ八戸港など他県の漁船も相当
の賑わいを見せている。

借入先に地元銀行

磐城 産業会館建設に動く

磐城市産業会館建設は年明けと共に
に年内完成を目標に、地元の銀行に
借入れ金額を決定することになった。
借入先は地元銀行に決まるとい
う。借入先は地元銀行に決まるとい
う。借入先は地元銀行に決まるとい
う。

磐城フットボール

全磐城バスケットボール

磐城バスケットボール協会、石城
地区高等学校体育連盟主催の全磐
城バスケットボール選手権大会は
二、三の阿比多木体育館(Aコー
ト)で開かれ、(Bコート)で行
われ男子は磐城フットボール、女
子は磐城フットボールがそれぞれ優勝
した。△小名浜高△内高OB
△金平△21△17△磐城高△磐城高24
△金平△21△17△磐城高△磐城高24

伊藤さんら

優勝

伊藤さんら
優勝
伊藤さんら
優勝

湯本で三味

線講習

湯本で三味
線講習
湯本で三味
線講習

消防出初式

六日 常磐の

消防出初式
六日 常磐の
消防出初式
六日 常磐の

囲碁将棋大会

常磐市市民館

囲碁将棋大会
常磐市市民館
囲碁将棋大会
常磐市市民館

石油価格改訂に就き御願

消費者各位様

石油価格改訂に就き御願
消費者各位様
石油価格改訂に就き御願
消費者各位様

天気予報

明日の天気

天気予報
明日の天気
天気予報
明日の天気

新年賀詞

<p>1957年</p> <p>勿來市役所 市長 古川賀川 助役 古川賀川 市役所 古川賀川 収入役 古川賀川</p>	<p>内郷市役所 市長 沼田吉之助 助役 沼田吉之助 市役所 沼田吉之助 収入役 沼田吉之助</p>	<p>常磐市議會 議長 越田初太郎 副議長 白石初太郎 事務局長 永山巖</p>	<p>常磐市役所 市長 吉田善八 助役 吉田善八 市役所 吉田善八 収入役 吉田善八</p>	<p>磐城市役所 市長 三田祐義 助役 三田祐義 市役所 三田祐義 収入役 三田祐義</p>	<p>平市役所 市長 伊藤久太郎 助役 伊藤久太郎 市役所 伊藤久太郎 収入役 伊藤久太郎</p>
---	--	--	--	--	---

三万八千九百八十三名

平の有権者総数

平市選挙管理委員会では三十一年度の基本選挙人名簿登録調査を終了したがこのほどまとまった。これによると総有権者は三万八千九百八十六名(男一万八千二百四十九人、女二万七千三百三十七名)で昨年より三百四十名ほど増加している。

各投票所別数(男)の概数

- 第一投票所(長橋、紺屋町、田町、一、二、三、四丁目、材木町) 総数五、一八八(男二、三二二、女二、八六六)
第二投票所(五丁目、新川町、鎌出、立町、堀ノ内) 総数四、〇七九(男一、七三六、女二、三四三)
第三投票所(台町、研間、久保町、朝霞、才橋小路) 総数三、三三三(男一、〇三〇、女二、三〇三)
第四投票所(北白銀、仲園町、旧城跡、中塩、四ツ波、帯大) 総数四、〇七九(男一、九三三、女二、一四六)
第五投票所(上中下平野) 総数一、六三三(男七八八、女八四四)
第六投票所(下荒川、中山、小泉、吉野谷、上高久) 総数一、〇四二(男四九八、女五四四)
第七投票所(塩田) 総数九七〇(男四九五、女五二五)
第八投票所(中神谷、上神谷、上片寄) 総数一、四六二(男六八九、女七七三)
第九投票所(谷川瀬、上荒川) 総数八三六(男三二二、女五一四)
第十投票所(豊間) 総数一、七九二(男八三八、女九五四)
第十一投票所(総数七二五) 男四四五、女二七〇
第十二投票所(沼ノ内) 総数七六三(男三七四、女三八九)
第十三投票所(高久) 総数一、七三三(男八二〇、女九一三)
第十四投票所(夏井) 総数一、七四四(男八一八、女九二六)
第十五投票所(泉崎) 下神谷、赤沼、六十枚、原高野) 総数一、四七四(男一、一七五、女二九九)
第十六投票所(馬目、網谷) 北神谷、水田) 総数七四七(男三三二、女四一五)
第十七投票所(赤井) 総数三、二二七(男一、五三五、女一、六八二)

今晚のラジオ

- 六〇〇 シンワドラマ
七〇〇 歌のメロドラマ
七三〇 花のメロドラマ
八二五 演芸漫遊会
九一五 霧の街
九三〇 週刊社会堂
二二五 放送劇「縁後」
ラジオ福島
六〇五 新春謡曲アンタシ
六二五 新音楽コンサート
六四〇 駿馬大演
六五〇 音楽の宝箱
七一五 中合ワ
七三〇 エンゼルタイム
八〇〇 素人歌合戦
八五〇 ナルミおやれミニ
九〇〇 明星歌謡ゲーム
九三〇 新春風流ラテエ
十〇五 名作アルバム

今晚の映画

- 平市
早稲田館(13日未) 動物の世界
最後の鐘聲 (七〇〇)
早稲田館(13日未) 第二常線
君を愛す (七一三)
早稲田館(13日未) 台風騒動記
ひんげ (六三三)
早稲田館(13日未) 最初のテキ
サス人 オトコ (六三三)
早稲田館(13日未) 大江戸喧嘩
七人の囃子 (七一三)
早稲田館(13日未) 眠狂四郎無頼
控 歌不夜城 (七一〇)
内郷市
早稲田館(13日未) 月形半平太
富士の夜襲 (六五〇)
早稲田館(13日未) 浮草の
宿 宿 (六三三)
勿来市
早稲田館(13日未) ロマンズ娘
静かなる恋 (七〇〇)
早稲田館(13日未) 怪力乱道
白馬の宿 (七〇五)

新年 謹賀

1957年 昭和32年元旦

石城地方市町村協議会
会長 平市長 諸久太郎
副会長 常磐市長 矢吹橋
好問村長 橋本栄一
事務局長 橋本栄一

常磐地方総合開発期成同盟会
会長 平市長 諸久太郎
副会長 常磐市長 矢吹橋
常磐市議員 橋本栄一
常磐炭鉱取締役 橋本栄一
常任理事 橋本栄一
事務局長 橋本栄一

平商工会議所
副会長 山崎 隆吉
副会長 谷川 野郎
専務理事 草野 四郎

平市金融団
副会長 山崎 隆吉
専務理事 草野 四郎

平市消防団
副団長 藤田 政次郎
専務理事 藤田 政次郎

福島県労働金庫平支店

平市福祉協議会

公社 専売 日本
平出 所長 鈴木勝明
外職員一同

平電話局
局長 永峯健二
外職員一同

平郵便局
局長 若沢貢
外職員一同

平電報局
局長 小林正具
外職員一同

福島県平市警視庁九番地
平労働基準監督署
署長 安藤嘉雄
他職員一同

東京通商産業局平石炭支局
支局長 大島正夫
外職員一同

石城地方県出先機関協議会

平地区米穀卸賣協同組合
理事長 片寄保
平市大町二ノ一
電話二八・八〇三番

石城郡高校長会

平市小中高校長会

平市鎮守
子歛倉稻荷神社
宮司 山部正勇

平市
飯野八幡宮
宮司 飯野盛男

蓮沼竜輔

清宮一郎

大嶺庫

市井茂
辯護士
平市田町 電話七〇六番

志賀傳吉
平市会議員
日本社会党平支部長

坂本昌蔵
平市商店連合会長

阿部政右衛門
常磐炭礦販賣株式会社
取締役社長
平市田町武治四番地 電話三七番

佐藤三平
三幸デパート
社長
平市三丁目 電話三七五〇六

平地区大工組合
組合長 大馬波
副組合長 大馬波
事務所 平市田町十四番地
組合員 勇正 光知 一同

福島県平市字三倉八番地
片倉工業株式会社
平製絲所
所長 村田鉄男

魚市場
株式会社
代表取締役社長 志賀盛栄

福島県平市材木町
福島県南酒販株式会社
平支店
電話 992 1863番

福島県平市古銀沼町92
亀井商店平出張所
電話 平 804番